

健康メモ

今日の小児予防接種

広島市西区医師会理事
むらき小児科院長

村木幸太郎

小児の予防接種

には定期（無料）と、任意（有料）のものがああります。

期間、回数を規定

通りにすることが大切です。

1. 定期接種

次の①～⑤です。

①BCGは結核を予防します。2008年4月から個別接種になりました。生後三カ月～一歳の間に一回注射します。普通一カ月位で化膿したようになりますが、自然に治ります。ツベルクリンは中止になりました。



②ポリオは運動神経が麻痺する病気です。生後三カ月～一歳半の間に二回内服します。広島市では集団接種しており、生後六カ月を過ぎた赤ちゃんに通知が郵送されます。

③三種混合ワクチン（ジフテリア、百日咳、破傷風）は三週間～二カ月間隔で三回、一年～一年半後に一回追加、さらに一～二歳に二種混合を一回注射します。百日咳はしつこい咳が続く、熱は出ません。大人もかかることがあります。

④麻疹（はしか）・風疹（三日はしか）混合ワクチンは08年4月から二回（一～二歳と五歳小学校入学前）接種しています。現在中一（二三歳）、高三（一八歳）に当たる方にも無料でしています。

まだ一回しかしていない人はぜひ二回目の注射をしてください。修学旅行などで欧米に出かけるときに麻疹の接種・罹患証明が要る場合があります。

⑤日本脳炎にかかると高熱がでて意識がなくなりけいれんをおこします。日本脳

炎にかかった豚の血を吸った蚊が人を刺すと感染します。09年4月には新しいワクチンができる予定ですが、現行ワクチンを使うこともできます（承諾書が必要です）。

2. 任意接種

⑥みずぼうそう（水痘）、⑦おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）があります（有料）。

⑧インフルエンザワクチンには微量の卵蛋白が含まれているので、重い卵白アレルギーのある方は医師に相談してください。けいれんを起こした方、ステロイドホルモンを飲んでいたり方やガンマグロブリン注射を受けた方は、すぐにワクチンが打てない場合があります。成人に行われている結合型肺炎球菌ワクチンはまだ小児には使用できません。インフルエンザ菌タイプB（Hi b）ワクチンの輸入・使用はストップしています。